

平成22年度 第2回 特別史跡熊本城跡保存活用委員会 会議録

1. 開催日時：平成23年3月23日（火）13：30～15：30

2. 開催場所：熊本市役所4階モニター室

3. 出席委員：（敬称略）12名

小堀富夫（委員長）、伊東龍一、今村克彦、岩下直昭、岩永邦子、北野隆

佐々木信文、高瀬哲郎、富田紘一、松本寿三郎、山尾敏孝、吉丸良治

※ 欠席委員：亀井創太郎、北村直登、田中哲雄、服部英雄

4. 次第

（1）開会

・委員長挨拶

東日本大震災により想像を絶する甚大な被害が生じている。文化財関係も、国宝、重要文化財にも被害が出ていると聞いている。もし、熊本で同規模の地震が生じたらと改めて考えさせられているところである。さて、本日は、活発なご意見とご議論をお願いしたい。

（2）報告事項

① 前回専門部会 審議内容報告

- ・ 第1・2回活用部会【資料1-1・資料1-2】
- ・ 第2回史跡・建築部会【資料1-3】
- ・ 第3回史跡部会【資料1-4】

（3）審議

① 前回保存活用委員会の指摘に伴う事務局提案

a. 前回保存活用委員会の要旨報告 【資料2】

b. 前回指摘・懸案事項に対する事務局提案

- ・ 組織表・審議事項・委員名簿【資料3-1・3-2・3-3】
- ・ 「特別史跡熊本城跡保存管理計画策定報告書」の見直しに向けて【資料4-1】
- ・ 今後のスケジュール【資料4-2】
- ・ 保存管理計画改定案の構成【資料4-3】

② 審議

■ 議事録（要旨）

（2）報告事項を終えての意見

質問・意見	回答
【桜の馬場 城彩苑について】 ・活用部会において、いろいろなご意見がある中で、特に１つだけ言わせていただくと、城彩苑は夜の全体照明が暗い。もう少し照明の追加をしてもらえないかというご意見があった。是非ご検討いただきたい。（吉丸委員） ・現在、湧々座が８時半から１７時まで、物販が１９時までで、飲食が２２時までである。できれば、湧々座の開館時間を１時間ずらして９時半から１８時に変更すれば、街中への利用者の流れ、または宿泊へとつながるのではないか。ご検討いただければ。（岩下委員） ・現在、多くの観光客の方が、城内見学後、二の丸駐車場から乗って帰られている。これを逆に、二の丸駐車場で降りてもらい、下の城彩苑で乗ってもらうようにすれば、早く見る人は見て、城彩苑で飲食・物販でお買い物もできるようになるし、二の丸駐車場へ上らなくてもすむ、この方がベターではないか？（岩永委員） ・現在城彩苑の駐車場が狭いため、二の丸駐車場に駐車している人も多い。ただ、二の丸駐車場が１７時半に閉鎖されている。そのため、城彩苑の利用者は車を移動させなければならない。二の丸駐車場の閉鎖時間を延長するなどどうにかしてもらえないか。（岩永委員）	・新年度も予定している活用部会において、桜の馬場等いろいろなご意見をいただき、今後の改善点にしていければと考えている。【事務局】

（3）審議

質問・意見	回答
【はじめに】 ・前回までの委員会において、計画策定から３０数年経過し、相違が生じている「特別史跡熊本城跡保存管理計画（昭和５７年）」を早急に見直す必要があり、平成２５年度からの計画策定では遅すぎるという意見であったかと思う。（小堀委員長） 【保存管理計画の見直しについて】 ・今回も昭和５７年同様、きちんとした策定報告書としてまとめあげるのか？具体的にはどのような報告書になるのか？（小堀委員長） 【委員会の組織について】 ・保存管理計画を策定しようとしているのに、文化庁と県文化課が、どうして今日参加していないのか。文化財の現状変更等は、県文化課を通じて文化庁に提出しなければならないのですよ。（北野委員）	・同様の策定報告書を作成していきたい。（文化財課） ・県文化課には事前に案内し、説明させていただいている。今日は、どうしても都合が合わず、やむをえず欠席するとの連絡をうけている。今後も、文化庁と県文化課に

質問・意見	回答
【今後のスケジュールについて】 ・桜の馬場 城彩苑は整備され、現在も馬具櫓、平左衛門丸堀の復元の整備が順次進められている。保存管理計画を基に熊本城を整備すると言っているが、全く無視しながら整備を進められている。平成 26 年度に計画策定するまで整備は中断されるのか？（北野委員） ・保存管理計画策定は補助事業で行うのか？（今村委員） ・2 ヶ年事業？そうすれば、24 年度までには報告書策定できるのですね。（今村委員） ・いろいろなところに波及するので、可能な限り早く策定を進めてもらいたい。（今村委員） ・スケジュールについて説明してほしい。（小堀委員長） ・3 年間、整備は中断するのか？（北野委員） ・24 年度には、大まかな基本方針をまとめるのでは？（今村委員） ・計画策定費用の国の補助があると言われていますが、イメージとして、資料作成して方針をまとめる程度なので、費用はかからないように思うのですが、どのような仕組みになっているのか？（吉丸委員） ・印刷製本費程度ならそんなに費用はかからないのでは？（吉丸委員）	(2 ページつづき) 指導・助言をいただきながら、協議を進めていきたい。（事務局） ・はい。（事務局） ・文化庁担当者とも事前の下打合せ程度は行わせていただいている。熊本城の場合、史跡規模が大きいので、測量等の基礎調査を含め、今後の協議次第では、3 ヶ年事業も可能と考えている。（文化財課） ・計画策定は 26 年度末ということで目指している。（文化財課） ・23, 24 年度は委員会、部会で内容を報告し、25, 26 年度で補助事業により、策定報告書を策定するという考えである。（文化財課） ・そのように考えている。（文化財課） ・計画策定には地形測量や石垣の実態調査などの基礎資料が必要となるので、予算的にはかなり必要となる。（文化財課） ・印刷製本費や場合によっては発掘調査も必要になるので、費用がかかる。そのため、どこの市町村も国庫補助事業で策定報告書を策定している。（北野委員） ・報告書には地形測量図などの各種図面や歴史変遷などを書き入れる必要があり、その業務をコンサルタントに委託する費用が掛かる。国庫補助があるので利用した方がよい。（北野委員）

質問・意見	回答
(3 ページつづき) ・今回の計画策定は、市のプロジェクトや委員の方々のご意見を含めて、昭和 57 年の計画との相違点を踏まえ、方向をまとめていくものなので、そんなに何年もかからないのではないかと思うのだが、測量設計等いろいろ調査するのに時間がかかるということなのか？(吉丸委員) ・平成 24 年度には基本的な方針を決めないといけない。細かな部分については専門部会があるので、長期的な考えを早期に決めて、その考えに沿うように計画していかないといけない。そうしないと、計画がでたらめになってしまう。(今村委員) ・基本的な色決めに集中的に行わなければ、なかなかまとまらないと思う。一つの方角を決めて、後はハード整備やその他をどのように付随させていくのではないかと思う。それをだらだらと長くしてもどうかと思ったので、考えをお尋ねした。(吉丸委員) ・アバウトでは駄目。「ここの場所は、こうしてはいけない。」と具体的に箇条書きで書かなければ、県営プール跡地のようになってしまう。(北野委員) ・これまでは、市企画課を中心に、その都度だけ委員会を開催し、今回のような委員会がなく、市は進められていた。文化庁、県教育庁と相談しながら、計画策定することは良い。(北野委員) ・どうしても 23 年度中に基本方針をまとめるということは難しいのか？(山尾委員)	【委員長のまとめ】 ・今日の審議で、保存管理計画の早急な策定は、委員皆さんの総意であり、本格的な計画策定には 2、3 年かかることもわかった。一方その間復元整備を進めるのはおかしいとの意見もあったが、この委員会での意見を十分考え、進めてもらうということで、よろしいのではないか。(小堀委員長) ・今回のスケジュール案をみてもらっても、23 年度は委員会 2 回、活用・史跡・建築部会各 3 回、計画策定部会も発足後 2 回開催予定されているので、その中で意見を反映していってもらおうと、おのずとこの問題は片付いていくのではないか。(小堀委員長) ・航空写真や地形測量など、具体的内容を詰めるために基礎資料が必要になる。基礎資料の作成には、24 年度から正式にスタートする国の補助金を活用する予定であるため、今後の文化庁との協議次第ですが、早くてもそれ以降となる。(文化財課)

質問・意見	回答
(4 ページつづき) ・ 計画策定部会の発足時期や、委員選任について当然審議することになると思うが、どのように考えているのか？ (松本委員)	・ 来年度の23年度の委員会スケジュールですが、今年度で委員の皆様は任期満了を迎えられる。 23年度からの2ヵ年間も今回の委員の皆様には再任をお願いしたいと思っているが、再任依頼や公募委員の選定があるため、委員会開催は早くても6月頃になると考えている。 メンバー構成については、史跡・建築・活用それと計画策定部会も含め、決めさせていただきたいと考えている。ただし、計画策定部会は、国の文化庁とのいろいろな協議、指導等もあるため、委員の選任についても、県を含め協議が必要と考えている。計画策定部会をちょっとズラしてというのは、そういう意味もある。 本来であれば、早くしたいということも可能であれば、考えているが、計画策定についてはちょっと慎重に、委員選定も含め検討しなくてはならないと考えている。(事務局)

4、その他

■ 委員任期を終えての各委員からの感想

(吉丸委員)

- ・ 2年間いろいろ勉強させていただいた。県民の皆様が熊本城を単なるシンボルでなく、熊本の中心になるような期待を持たれている。
- ・ その委員の皆様の中でも、「絶対に残したい」という意見がある反面、「熊本の賑わいに生かして欲しい」という意見があり、率直に意見を出し合える良い場と思う。これからも論議していければ大変良いと思う。

(山尾委員)

- ・ 私は大学で土木関係の研究をさせてもらい、お城関係にも関わらせていただいているが、改めてお城のすばらしさがわかったようなひと時であった。
- ・ お城を活用したり、保存したり議論するだけでも相当な時間と労力がかかると思う。さらに未来を整理するとなるとものすごい尽力とお金を注がなければならないが、それだけの価値があると思う。
- ・ いろいろな意見があっても当然だと思いますが、その中で大事な方針をきちんと決めて、その方針に向かって協力するというのが良いのではないかと思います。

(松本委員)

- ・私は、歴史、特に加藤清正に関して携わってきた。熊本城や今度オープンした城彩苑もあり、人々が興味と関心を持ち、来られていることがよくわかった。
- ・櫓が復元整備されてきているが、建てるだけでなく、老人なのか若者なのかわかりませんが、人が来る以上、管理上の問題もあるだろうが、何か仕掛けを考えなければならないと思う。どこが仕掛けるかも問題。特に小学生くらいを見極めさせるのも良いのではないか。

(富田委員)

- ・この委員会は、保存とか活用を話題にこれから前向きに進んでいくのだろうが、実はこれまでも熊本城内の発掘調査を結構行っている。整備など行った際は必ず報告書を作成するが、最近送付されてきた仙台城や金沢城の報告書はすばらしかった。
- ・熊本城は再建再建が先になり、本丸御殿以外の報告書は出されてはいるが、長局櫓付近でも非常におもしろい遺物がでているにもかかわらず、報告までいきついていない、役所内では「本丸御殿は終わった。」ということで、「これから報告書を作成する。」という意見が出てこないと思ったので、この場で発言した。基礎データをとりながら復元、修復を行っているの、残しておかなければならない。是非報告書の方も忘れないようお願いしたい。

(高瀬委員)

- ・これまで名護屋城に関わってきたが、今回熊本城の委員をさせていただいてからの感想としてははっきり言えることは、建造物の復元整備は進んでいるが、本来残っている遺構としての石垣保存の組織だった体制が全くできていないということ。20 数年前二の丸の石垣にも指導を受けていると思うが、体制が変わらず、現在も後手後手という感じで進められている。
- ・石垣の設計コンサルも入っておらず、工事も現場主導で進んでいる。発注者側が徹しく施工管理する体制ができていない。何十年もされているのに、今でも当然のことができていないのが非常に残念である。

(佐々木委員)

- ・公募委員として2 年間参加させていただき、お城に関わる方々が、保存と活用という中で、これだけいろいろ検討されているということが良くわかった。委員になり、熊本城関連の記事等があれば切り抜き、非常に関心を深めて、自慢もしている。
- ・この2 年間で、委員会ははじめ各部会ができ、きちんとした組織ができたことにより、今後研究していくための土台作りができたのではないかと考えている。
- ・一昨年200 万人の動員を果たし、尻すぼみにならないよう今後とも良い案を出せたらと思っている。

(北野委員)

- ・事務局に言いたいのが、この委員会は、文化財保護と観光両方で言い合い、小堀委員長が上手にまとめられている訳です。委員会で決まったことは尊重して欲しい。
- ・この会議は報告会ではない。「城彩苑をつくります。」「シャトルバスを走らせます。」「動く歩道を計画します。」と言って、この委員会での意見は聞いていない。報告会ならば、参加したくない。
- ・市上層部の方に言いたいのは、「この委員会は報告会でない。この委員会で決めたこととして尊重していただきたい。」ということ。

(岩永委員)

- ・公募委員で参加させていただき、自分が大好きな熊本城に対して委員の皆様がいろいろなご意見を持たれていることにとても感動した。
- ・私がいつも言っているが、「50 年先の熊本城を目指したい。そして、その財産を利用して、全国からお客さん呼びたい。」
- ・これからも全国の人たちに熊本の素晴らしさを、やっぱり熊本城と阿蘇を知らしめる活動をしていきたいと思っている。

(岩下委員)

- ・委員の皆様のご貴重な意見を聞く機会を与えていただきありがとうございます。私は、地域活性化という立場で参加させていただいた。
- ・私も保存と地域の活性化を調和することが一番大事と考えている。保存管理計画と復元整備計画の見直しを是非これからの熊本城の発展、地域活性化のために熊本城を活かすということを考えながら、また、50 年先を見据えながら、検討していただければよいお願いしたい。

(今村委員)

- ・今熊本市で進めている復元整備は、「再建」ではなく、何十年か先には重要文化財になる「復元」の建物を造ったと思っています。偽物ではない。
- ・復元整備して、年間 200 万人を超える観光客が来られ、その後をどうするか課題であり、重要文化財や復元した建造物を、是非開放して、活用していただければ幸いと思う。例えば城彩苑では、本丸御殿の他の障壁画も CG で復元しているように、使い方、見せ方ということが重要である。

(伊東委員)

- ・私は、建築部会に参加させていただき、大変勉強になった。
- ・お城の建築は、石垣の上に建物が載っているわけだが、史跡・建築部会の中では、石垣と建築のそれぞれの立場の先生方が激論を交わされている。復元整備ということだけでなく、学術的には大変意味のある場である。このような雰囲気大事にいただければと思う。
- ・また、馬具櫓の復元整備完了したところで、報告会やシンポジウムみたいなことができないかということも思った。

(西島観光振興部長)

- ・守るところは守り、それをどう活かすかということが大事と思っている。
- ・シャトルバスの件は、利便性を考えさせていただき、「動く歩道」の代替案として運行させていただいた。
- ・4 月から文化財課と同じ部局になる。活用と保存については、様々な問題があるかと思うが、逆に同じ部局であるからこそ、いろんな意見をしっかりと聞くことができると思っている。
- ・今回委員の任期を迎えるが、これからも熊本城史跡を愛していただければよいお願いしたい。

(落合熊本城事務所長)

- ・委員会立ち上げ時は、見えない部分もあり申し訳なく思っていたが、この 2 年間のご審議で、基礎的な部分や方向性が固まってきたと感じている。委員の皆様には来期も引き続きお願いしたいと考えているし、感謝している。

(河田文化財課長)

- ・文化財課の役割は、文化財保護であり、4月の組織改変により市長部局に入ることとなるが、文化財保護が基本ということには全く変わらない。
- ・昭和57年策定の保存管理計画も、30年経過し、当時と非常に変わってきている。正直触れたくない課題であったが、この機会に、熊本城のあり方を、この委員会で議論していくことが、有意義なことであると思っている。
- ・そのような意味では、今後も皆様からのご意見と、熊本市の組織と、非常に苦しい立場ではありますが、熊本城を50年・100年も末永く多くの方々に見ていただくという視点でまとめていきたいと思う。

■ 最後に

質問・意見	回答
【『しろめぐりん』について】 (岩永委員) ・先日「しろめぐりん」に乗車した。新町、蔚山町をお城の城下町として紹介することを目指されていると思うが、蔚山町と新町のバス停間の10分程度の乗車時間に、車内放送はバス停名だけで、新町・蔚山町が昔こういう町だったみたいなものが抜けていて、城めぐりにはならないと思った。復元だけでなく、そのようなところの再チェックを行ってほしい。 ・皆様も、一市民としてお金を払い乗ってもらい、何か抜けてるぞと感じてもらったら、出来たものが非常によくなると思う。 (岩下委員) ・仙台で同じようなバスに乗ったが、運転手さんがずっと説明してくれ、観光客の方も喜んでた。そういう運転手さんを育ててほしい。 (北野委員) ・北岡自然公園があれだけ整備できているから、熊本駅から妙解寺を通して欲しい。そして、『歴史の道』(熊本駅～妙解寺～高麗門～新町～新一丁目御門～熊本城)のようなものを作って欲しい。 (吉丸委員) ・あの一帯は、歴史の宝庫みたいなものである。雰囲気がよくなり、全然変わってきているので、道路を色分けするなどしたら、きっといいコースになると思う。 (北野委員) ・高麗門から新町に入るところには、長崎次郎書店もある。 (北野委員) ・新聞等も含め案内板が、「北岡自然公園」という表現になっている。「国指定妙解寺」なのだから、表現を検討してほしい。	(西島観光振興部長) ・今回、「桜の馬場 城彩苑」オープンに伴い、行きは、熊本駅から熊本城へ直行していただき、帰りは、町屋とか城下町風情を味わっていただきたいと思い、コース変更させていただいた。 ・九州産交さんが運行されている『みずめぐりん』『もりめぐりん』では、少し案内してもらっているが、時間的な部分も見計らいながら、検討させていただきたい。 (西島観光振興部長) ・今年は、その説明される際の補助看板を設置させていただいた。バスのルート変更は厳しいが、23年度には歩く道として誘導案内板が熊本駅から新町まで繋がる予定で、熊本駅と中心部を結ぶ仕掛けをきちんと考え、取り組ませていただきたい。

5、閉会